

令和5年度

試験名：私費外国人留学生入試

【人文文化学群 比較文化学類】

区 分	標準的な解答例又は出題意図
(小論文) 問1	<p>(解答例)</p> <p>給食の時間は、知識を伝達し規律を習得する場とされがちな学校を、保護者や教員、生徒、調理者などによる主体的な教育実践を可能にし、楽しみつつ学ぶことのできる空間へと変容させていく試みになるということ。(98字)</p>
問2	<p>(解答の目安)</p> <p>受験者の出身社会における給食制度の体験や観察にもとづく具体的な事例を挙げながら、たとえば、給食と伝統的な食文化や伝統的食材の関係に関する比較文化論的研究、教師による食指導に関する比較文化研究、新しい食材を通じた味覚の変容に関する比較文化論的研究、冷凍食品中心の給食か学校で作られる給食が中心になるかの思想的技術的課題が比較文化論的研究などとして論じることが可能である。比較文化学類を目指す留学生それぞれの視点から、具体性をもって適切な日本語で論述することがのぞましい。</p>